

# 山下循環器科内科ニュース第 171 号

2017 年 9 月 1 日発行（隔月発行）

ホームページ <http://yamashita.chobi.net/>

## ◎高齢者と運転免許証

高齢者による交通事故が頻発しています。最近では大分市内の病院待合室に突っ込んだ事故が記憶に新しいところです。このような情勢を受けて、今年 3 月に道路交通法が改正されて、認知症の高齢者の免許更新について新たな規制がなされるようになりました。かいつまんで書きますと、75 歳以上の方で 3 年ごとの免許更新時、または更新前に一定の違反をした時に、認知機能検査を受け、認知機能が低くなっている時には、かかりつけ医や認知症専門医療機関で診察を受けることとなります。そこで認知症の診断がなされますと、免許停止や取り消しとなるようになりました。このような過程を踏む前に、自主返納するよう運転免許センターは勧めています。一定の違反とは下記のとおりです。

- ・信号無視・通行禁止違反・通行区分違反
- ・横断等禁止違反・進路変更禁止違反・しゃ断踏切立入り等
- ・交差点右左折等方法違反・指定通行区分違反・環状交差点左折等方法違反
- ・優先道路通行車妨害・交差点優先車妨害・環状交差点通行車妨害等
- ・横断歩道等における横断歩行者等妨害・横断歩道のない交差点における横断歩行者妨害・徐行場所違反
- ・指定場所一時不停止等・合図不履行・安全運転義務違反

都会の交通便利なところは、免許が取り消されても移動に不自由はあまり感じないかもしれませんが、過疎地では免許取り消しは死活問題となります。自動運転の車が実用化されればこういう問題も少なくなると思われませんが、現時点では、まだそういうわけにはいきません。いつ免許証を手放すべきか、個々の事情で変わるとは思われますが、運転を続けられる方は、なにとぞ運転には十分お気をつけください。（院長）

## ◎大分大学医学部神経内科木村准教授の認知症講演のご報告

最近、認知症や判断力の低下による高齢ドライバーの交通事故のニュースで報じられています。厚生労働省の研究班の推計によると全国の認知症の人の数は 2025 年には 75 歳以上の高齢者 5 人に 1 人といわれています。

7 月 1 日デイケアやました、デイサービス碧の共同企画として大分大学医学部神経内科准教授木村成志先生を講師に迎え「認知症を正しく理解する」をテーマに講演して頂きました。地域の方やデイケアご利用者の家族の方約 60 名の

方が来られ、聴講されました。

講演会は毎年行われ、今年で7回目を迎えることができました。認知症をより分かりやすく区別して症状や家族の対応などを詳しく学ぶ良い機会となりました。今回、認知症の症状とそれぞれのケアのポイントについてご紹介します。

#### 《徐々に脳が萎縮するアルツハイマー型認知症》

社会的であったのに外出しなくなる意欲低下。最近の出来事が「思い出せない記憶障害。日時や場所、人物を正しく認識できない見当識障害。財布や大切なものの保管場所を忘れてしまい自分で見つけられず、物盗られ妄想が代表的な症状です。

ケアのポイントは、失敗を指摘、否定しない。デイケアなどを利用し生活のリズムを整え、デイケアの職員からトイレ誘導のコツを習い家庭でも実践してみるとよいと思われま。

#### 《脳卒中後に突然発症する血管性認知症》

運動麻痺、歩行障害、飲み込みにくくなりムセ込む嚥下障害が代表的な症状です。

ケアのポイントは活動性を上げるため、手すりや家具の配置を工夫し自分で出来ることを可能な限り行うように促しましょう。

#### 《レビー小体型認知症》

気分が沈み悲観的になる抑うつ症状。存在しないものが見える幻視。動作の鈍さ、小刻み歩行。表情が乏しくなる。前かがみの姿勢が代表的な症状です。

ケアのポイントは孤独にせず安心感を与える。注意力の低下でつまずきやすいので、つまずきやすい物を片付けるとよいでしょう。

#### 《前頭葉の萎縮で発症する前頭側頭型認知症》

65歳以下に発症することが多く、繰り返しの散歩や同じ話や言葉繰り返し。毎日決まった生活パターンに固執する事が代表的な症状です。

ケアのポイントは本人の保たれている記憶や運動機能を上手に活用し出来ている行為を維持し生活パターンを尊重することです。

これらの認知症の治療には、早期薬物治療の重要性と地域全体で認知症の人と家族を支えあうことが大切です。認知症は誰にでも起こりうる脳の病気です。家族だけで抱え込まず、早めにかかりつけ医やオレンジドクター（もの忘れ、認知症相談医）へ相談することで、早期発見・正しい治療が出来ます。また、専門医に紹介してもらうこともよいでしょう。そこからケアマネジャーをはじめ、家族、介護サービス事業者などチームで連携し取りくむことが重要です。  
(介護福祉士 古庄こず恵)

